

小山三中だより



ひまわり

「いつでも・どこでも・誰にでも」 「明るく さわやかな あいさつ」

学校教育目標

【目指す生徒像】

自ら進んで学習する生徒
正しく判断し行動する生徒
心身を鍛え逞しく生きる生徒

2026. 1. 21発行(第13号)

小山市立小山第三中学校

第2学期終業式と第3学期始業式の 生徒代表の言葉 (一部を紹介します)

【第2学期 終業式】

○1年生 代表生徒

私は、2学期を通してクラスや学年が成長したと感じる2つの事柄について振り返りました。

1つ目は、合唱コンクールです。私は、伴奏者としてクラスの足を引っ張らないよう、家や学校での練習に一生懸命取り組みました。本番に向けて、昼休みや放課後には、クラスのみみんなでパート練習をしたり、指揮者と朝早くから練習を重ねたりできたので、クラスの結びつきが強まりました。本番では、スーパー金賞に届きませんでした。が、クラス一丸となって、歌、指揮、伴奏全てが重なり合い、美しい音色を奏でることができました。

2つ目は、学年全体の成長です。1学期に比べ、給食の準備や集会の並び方が早くなり、時間を見ながら素早く行動ができるようになりました。そして、一人一人が自覚をもってやるべきことを認識し、あいさつや返事も大きな声でできるようになりました。正しく判断し、行動できる三中生に近づいてきたと思います。これからも学年全体で切磋琢磨し、成長していきたいです。

○2年生 代表生徒

1年の中で1番長い2学期が終わり、2年生のまとめ、3年生になるための準備となる3学期に入ろうとしています。この2学期では、大きな行事が重なり、昨年度よりも忙しさを感じた2学期でした。しかし、その分、より責任感や緊張感をもって仕事に取り組むことができました。たくさんの経験をしたこの2学期において、学級委員とし、一人の人として、反省を通して学ぶことがあり、大きく成長することができました。その中で私は、この2学期で1番責任をもつということに深く悩み、考えました。責任をもつということは、今まで当たり前のように身近にあったことです。それを

2学期になってもう一度考え直すことに疑問をもつ人も多いと思います。でも、当たり前であるからこそ、そこをしっかりとこなすことができる、当たり前のことを当たり前前にできる人に私はなりたいたいと思いました。

この2学期で学んだ多くの反省をもとに、2年生の締めくくりとなる3学期をより良いものにしていき、3年生に向けて一人一人が責任をもつことができる、そんなクラス・学年にしていきたいです。



○3年生 代表生徒

2学期を振り返ると、三中祭と駅伝大会という大きな行事があったり、本格的な受験勉強も始まったりと、毎日があっという間でした。

合唱コンクールでは、パートで何度も話し合いを重ね、1回1回の練習を大切に取り組みました。改善できる場所を見つけ、最後の最後まで『最高』を目指して練習ができました。本番では、全員が心をついにし、努力の成果を出し切ることができ、どのクラスも3年間で一番の歌声を響かせていました。駅伝は、どのクラスも全員で協力し、襷を繋ぎきりました。自分のクラスだけでなく他のクラスや他の学年の人に対しても応援をするなど、最後の三中三大行事にふさわしい良い思い出となりました。

私は、学級委員として全員がクラスの行事に全力で参加できるよう、声掛けやサポートを行いました。また、普段の生活でも皆の模範となれるよう心掛けたことで、1学期よりも自分のやるべきことに責任をもてるようになりました。

三中で過ごせる日も残りわずかとなってきました。3年間で学んできたことを活かし、皆と笑顔で卒業したいです。そのためにも、友達や先生方、家族への感謝を忘れず、一日一日を過ごしていきます。そして、最高の卒業式を迎えられるように三中の顔である最上級生としての自覚と責任をもって生活し、後輩へしっかりと手本を示していきたいと思っています。



【第3学期 始業式】

○1年生 代表生徒

新年という節目を迎えて、私には反省すべきところが2つありました。

1つ目は、学習についてです。自主学习や各教科のワークを何かと理由をつけて後回しにしていました。2つ目は、学校での生活習慣です。3分前入室や2分前着席はできていても1分前学習に身が入らず、近くの友達と話してしまい切り替えることができませんでした。

この2つの点を、3学期を通して改善していきたいです。学習面では、嫌なことから逃げずに、計画的な学習を進めていきます。1年生で学習したことは、1年生のうちにしっかりと身につけておきたいです。

生活面では、落ち着いた生活を心がけ、メリハリをつける意識を強くもちます。与えられた環境や時間を有効に活用して、学校生活をさらに充実させたいです。

3学期が終われば、私たちは2年生になります。先輩を支え、後輩の手本になる立場です。その時に自信をもって新たなスタートが切れるように、この3学期を今まで以上に重要な学期だと意識して過ごしていきたいです。

○2年生 代表生徒

3学期は、学年の締めくくりであると同時に、「3年生のゼロ学期」だと思います。だからこそ、この3学期を大切に過ごしたいです。

2学期を振り返ると、部活動の部長として部員の技術向上について考え、実行できたことが自分の成長につながりました。練習内容を工夫したり、仲間と話し合ったりしながら、チームが少しずつ良い方向に進んでいくことを感じることができました。一方で、勉強面では忙しい時期や体調の影響もあり、勉強時間にむらぎできてしまったことが反省点です。

3学期は、「3年生のゼロ学期」として、勉強と部活動の両方に本気で取り組みます。勉強面では受験生になる意識をもち、毎日こつこつと努力を積み重ねていきたいです。

また、部活動では、少しずつではありますが、引退が近づいているからこそ、最後の作品完成までチーム一丸となって技術向上を目指します。部の雰囲気により良くなるように周りに目を向け、一人一人と向き合いながら、大会優勝に向けて最後まで全力を尽くしたいです。

○3年生 代表生徒

私は、中学校生活3年間の総仕上げとして「最高」を実現したいと考えています。そのために意識していきたいことが3つあります。

1つ目は、学習についてです。3年生のうち、多くの生徒が冬休み中に私立高校の受験を経験しました。しかし、安心できる時間はありません。自分が本命とする入試がまだの人も多く、残された時間もわずかだからです。最後まで諦めずに学習に取り組み、自分の将来につなげていきたいです。

2つ目は日常生活についてです。このメンバーでいられる日も、残り少なくなっています。だからこそ、毎日の日常を大切に、中学校生活を楽しんでいきたいと思えます。休み時間に友達と笑い合い、授業中は真剣に取り組む、そのメリハリをつけた生活を送ることで、何気ない幸せや楽しさに気づくことができると思えます。そんな当たり前を大切にしていきたいと思えます。

3つ目は、卒業式です。前年度までは日本一の卒業式を目指し、去年の先輩方はそれを達成してこられました。そして、今年はさらに日本一、かつ最高の卒業式を目指したいと思っています。日本一で最高であることの判断基準は、外部の目だけではなく、自分たちの心です。「卒業式だけ真面目に」ではなく、日頃の生活から態度は作られることを忘れずに生活し、素晴らしい卒業式をつくり上げたいです。

新生徒会役員が決まりました

第3学期の始業式後、旧生徒会役員の退任式、そして新役員の任命式を行いました。旧役員の皆さん、これまでの素晴らしい活躍に感謝いたします。大変ありがとうございました。そして、新役員の皆さん、本校をさらに「いい学校」にしていきたいと思います。どうぞよろしくお祈りします。

【新生徒会役員】

- ・会長
- ・副会長
- //
- //
- ・会計
- //
- //
- ・書記
- //
- //